

週寫眞

編輯部報情閣内
ンセ十・號九十六第・日四十月六

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 12



一億二心百億貯蓄

一億一心百億貯蓄



支那事變の戦費は事變勃發以來既に莫大な額に上つてゐる。このための公債發行の豫定額も今年度だけで六十億圓、その上に生産力擴充に四十億圓、このうちの大部分は戦争をするための物資の調達にあてられる。

この結果、國內物資は一段と不自由を感ずることになり、國民生活の必需品も一層品不足を告げることになる。事變前に貯へられていた手持品も大部分喰潰してしまつた今日となつてゐる。もし萬一、軍需景氣に酔つた一部の國民が收入の増加に委せてこれを浪費するやうなことにでもなると、それこそ恐るべき物價の騰貴、悪性インフレーションを伴はなうとは誰が保證しえようか。

これに備へるために政府は物價統制の強化策を更に一歩おし進めることになつたが、國民としてはこの際、最高度の消費節約、つまり健康と仕事の能率に支障を來さない限度で出来るだけの消費節約を斷行することが要望されてゐる。——この消費節約はとりもなほさず國民各自の收入のうちから出来るだけ貯蓄をすることである。

貯蓄の實踐は、世の中に動いてゐる通貨を少くすることになり、物と金とのバランスを維持すること、物價の騰貴を抑制する最有力の手段であり、同時に戦費（事變公債の消化）及び準備費ともいふべき生産力擴充資金調達のための源泉である。

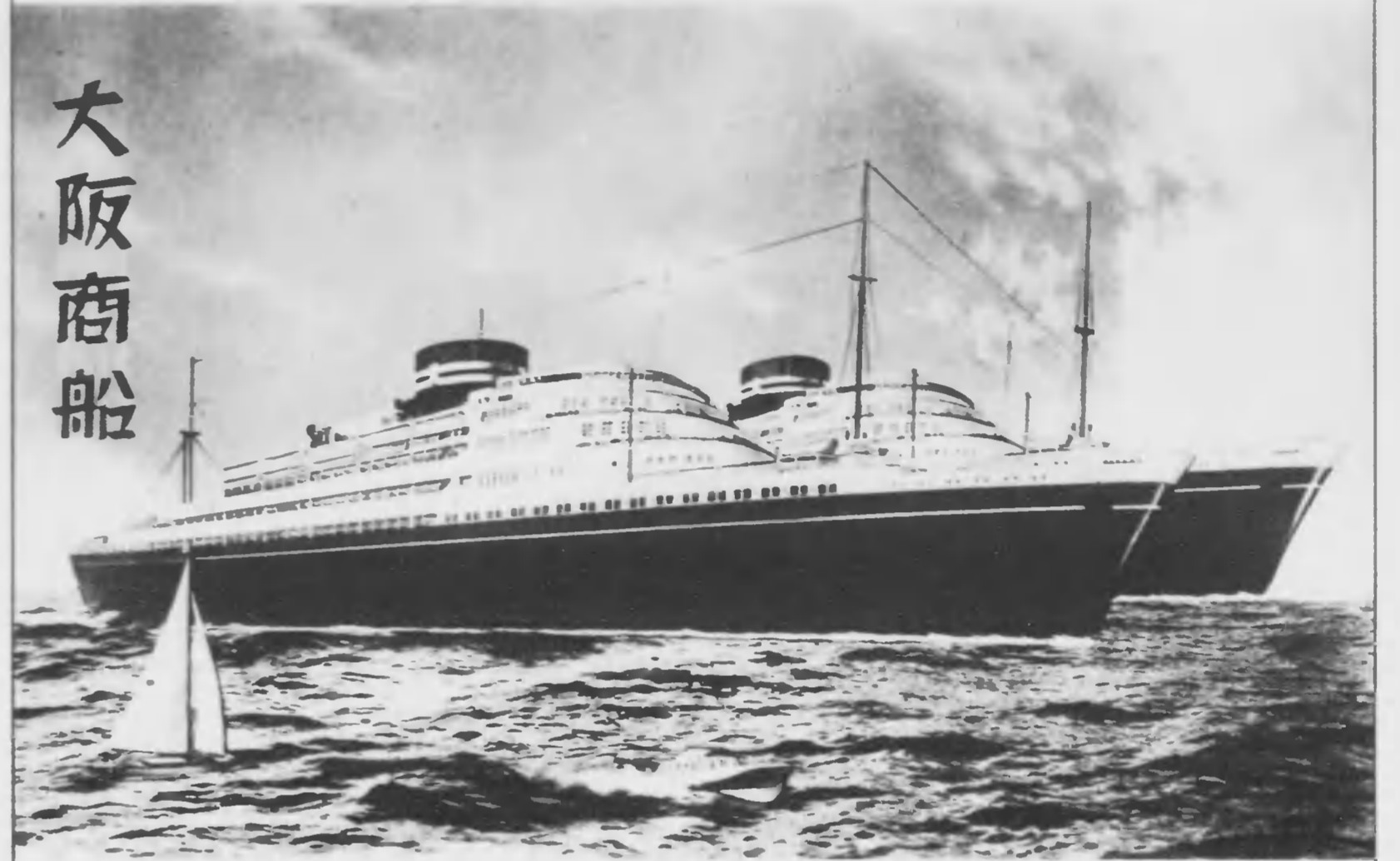
要するに貯蓄は戦時財政政策運行上の鍵であり、刻下の重大時局克服のため銃後國民が持つてゐる最も有力な武器である。

六月十五日から廿一日まで『百億貯蓄強調週間』が實施される。國民はこの機会に擧つて眞の經濟戰の意義を體得し、貯蓄によつて祖國を背負ひ、貯蓄によつて健全な自己の生活を打ち樹てなければならぬ。

大藏省國民貯蓄獎勵局

七洋に雄飛す

大阪商船



三ヶ月で

香港馬來

印度アフリカ

南米北米經由

世界一周の旅へ

新造船

あるぜんちな丸

處女航海

七月十一日横濱發

同 十五日神戸發

姉妹船

ぶらぶら丸

就航近づく

O.S.K. Line



一億一心百億貯蓄

かかく貯ふ

京東

月二回の貸銀仕掛の日。産業戦士の労働はその三病強がその場であつちて工場内に愛蔵貯金や普通貯金としてあづかれる。

朝七時二〇分からの暮れるまで。彼は操場の中でモーターの轟音の裡に油にまみれ汗にまみれて働らいてゐる。



貯蓄に従事する人々の増収がつたへられる。この人々はその生活でどのやうに蓄財に努力してゐるであらうか？九千人の職工さんが生活費を日毎に蓄積してゐる東の足立区にある工場とその一例を拾つてみよう。

質素な作業服にはちぎれる廿七歳の青春をつまみ、腕につばい働らいた。今月の成績、一と月の総収入と貯蓄金額を貯蓄カードに書き入れる。

貸付生活刷新会といふのが工場内に組織され、毎週組織で貯蓄をすすめてゐる。収入に対する貯蓄の比率統計が職場ごとに発表された。

生活費のうちからキリつめられるものは出来るだけキリつめて、今月も奥さんは工場内の貯金とは別に二十圓、郵便貯金に

月給袋に明記された工場内貯金額は三十五圓。「これにお前の郵便局にあづけたのを足せば五十五圓だね。まあ出来るだけ貯めてやつてゆかうよ。」新妻の初のお産が二月後、三十ワットの電燈の下で若い夫婦の明るい笑ひがはびんでゆく。

撮影 鈴木實





約三萬人の男、女工さんをもつじ工場には工場長以下三十人からなる産業報國委員が組織されて、毎月初めの月に実行する項目を決め、宣誓式をすることになっているが、六月は「貯蓄報國、物資節約」のスローガンを掲げ、六月一日は従業員日家族の下で騒々な宣誓を行った。

「貯蓄報國」の六月のスローガンは廊下の掲示板に新しく掲げられた。兵隊さんたちは銃を執つて戦場で戦つてゐる。わたしたちはこのスローガンを執つてこの工場で戦ふのだ。



かぐ貯ふ

大 阪

撮影 内閣情報部

東京と対んでわが國最大の工場地帯を擁する大阪府は、百億貯金はまづ工場からと、四月十七日から二十日まで職工百名以上の工場に経営主を所轄の警察署に招いて懇談の後、更に五月五日から末日まで府の工場課長その他が各工場に赴いて百億貯金の趣旨を説いて通つたが、経営主も職工さんも大いに感激、六月からは各工場とりの工夫を凝らして一層貯蓄の徹底を図ることになった。

女工さんたちは仕事が済んで寄附金に歸ると各職場単位に相談会を開き、議場の事情に従つて夫々実行方法の協議に入つた。堂長さんがまづ議長となり各女工さんたちの頭が絞れ出す言葉を一々退上りにつけて討論をつづける。



貯蓄の實行方法として各職場毎に世話役が選ばれ、女工さんたちは今月はいよいよより二割増の貯蓄をすることに決めた。これは昨年七月から毎月男工、女工、職員夫々に天引貯蓄をつけてゐるが三萬圓であつたが、今年五月には一躍約十萬圓には上つた。



ためたお金は郵便貯金ともなれば、また交那事變公債ともなつた。戦ふ積手に光る公債、み國のために少しでも盡した満足と喜びが彼女たちの頬を明るくほころばせる。

一億一心百億貯蓄

最近十年間 貯蓄増加額 における

(國民貯蓄獎勵局調査)



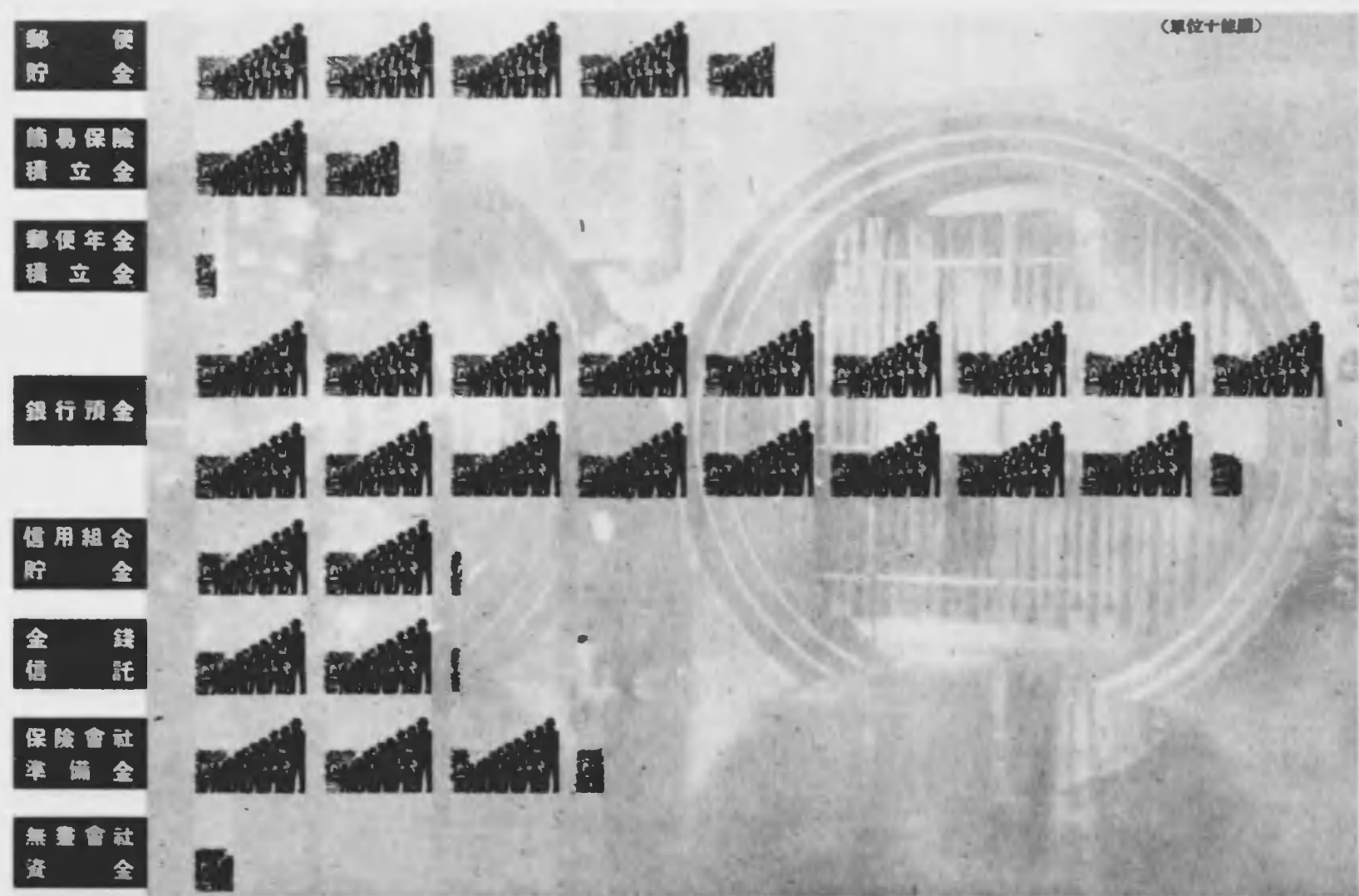
一億一心百億貯蓄

大阪

休憩時間を利用して殺到する一十銭貯蓄一郵便に新設の郵便局は朝から二階の忙しさに自ら陣頭に立つて十銭貯蓄に奮闘する局長さん。汗と油の十銭を毎日積みかさねていく。でもかうしては感激しませ。忙しい位、これも貯蓄報國の一つだす。

各種資金現在高比較

(國民貯蓄獎勵局調査) (昭和十四年三月現在)



「おい、公債買らんやな」
「うん、十銭貯蓄がもう六圓になつたやろ、それに家でやつてる散貯蓄(散貯蓄を自分たち同志で、その分だけ貯蓄する)の四圓と合せて十圓といふわけや」



N工場の前はこの四月から郵便局が新設されたので、これを機会に十銭貯蓄が一部の職工さんの間に広がったが、一日にわづか十銭なら、俺はタバコを一つ減らせば出来る、俺は酒を少しづつしめば出来る、としやすい貯蓄の魅力が職工さんに広がって、われわれもたとえ職工さんたちは貯蓄通帳を揃って郵便局に日参開局したばかりの新しい郵便局はお陰で大繁華、といふより目の通るやうな忙しさ、まるでN工場の私設郵便局といった顔がある。

撮影 内閣省務部



好況になると、金から物へ...の移向がはげしくなる。平生持ちつけない金か手にはいり、悪いところか運くると、とかく景氣よく散りたくなるのは浅はかな人情である。かうして金が街に氾濫すれば必然に物價は暴騰し、悪性のインフレーションが起る。一人の購買欲の満足は他者の財政破綻に續く。生活刷新が朝野に叫ばれてゐるときに、購買の調進、生産力補充資金に一銭の金も向けらるべきときに、單なる私の慾望充足は國策の線を逆行するものである。注意しよう、消費の魅力に。

健全な趣味としての書畫骨董の蒐集は平時ならば結構である。尤も白分だけの好景氣にたふついた金で大盛になつた氣持の流行は感心出来ない。



消費の魅力

飲酒にも節度がある。自己を失ふほどへべれけになるのは物身双方ともに無益な浪費です。

物によつては現在使つてゐるものゝ回收さへ考へられてゐる今日、いくら自分に金があるからといつて贅澤な家具や念に必要もない衣服など買ひあさるのは非愛國的行爲だと言はれても仕方がないでせう。

↑ 久し振の金廻りのよさに郊外の分譲地でも買つて呀羨の我が家を持ちたいといふのは人情。しかしさし當つて必要もない土地を買つておけば、今かて地價も暴騰するだらうなどいふのは不心得だ。ドイツの悪性インフレーションは土地投機から始まつたとさへ言はれてゐる。

↓ 第一編の卓球將兵はあらゆる種目と闘ひ奮闘してゐる。豪華な宴會などはやめよう。



國策の市

仲間同志で不用品を交換しませう

末の子供も大きくなつた。物置きつづから乳母車は『國策の市』へ持参



お金が国民の懐へ餘計に入つてくれば景気がいいことになる。このごろの好景氣は事變のために國が澤山のお金を使つてゐるからである。支那事變の戦費は一體どの位であるかといふと、事變がはじまつてから半年の一月ごらまでと豫定される高はさつと百二十億圓になる。これを日清戦争の戦費と比べると六十倍、日露戦争の八倍と膨脹してをり十圓札を横へ列べてつなぐと赤道を四週り半する程である。

この龐大な數字を聞いただけでもわれ／＼鉄後の國民はしつかと腰を落着け、經濟戰に打勝たねばならないときである。

ではわれ／＼はどんな生活態度をとればよいか、夫を働かして送り出した婦人の立話に耳をかたむけてみよう。

A、このごろ皆さんが景氣がいいといつて盛んに物をお買ひになります。物が少ないのに買手が多くなると自然物の値段が上つて私たちはこまります。

B、そうなんです。物價がどん／＼上つ

明日會社で『國策の市』がある。この古軍靴が何かの役に立てば中年夫婦の思ひは溜かだ。



丸ビル及會社の『國策の市』は開かれ、社員はさみ下見に忙しい。

ていつて『一本一圓なんてことになつたら、生活はとも出来ませぬわね、そして國の經濟も亂れます。

A、そうならない爲には、私たちが事變の關係で殖えたお金を消費せずに貯蓄すれば、物價も上らなくなり、國の財も楽になるんじゃないかと思ひます。

B、宅の主人の會社はその消費を省き貯蓄を増す意味で、お互の家庭から不用品とか過剰品の交換を廉價で行ひ生活の合理化を圖つてゐますよ。『國策の市』といふんです。

進む軍軍後押す貯蓄 街頭に聴く貯蓄進軍語に應へる『國策の市』は各會社に、工場に、グループの間に盛んに催されてゐる。席にまかれた乳母車が、三つある車輦が、時計、洋傘、茶、鍋、ネクタイ等あらゆる日用品必需品が持参され、同僚間に極く廉價に交換されてゐる。

物の死蔵から活用へ 物價暴落の精神はいまや街頭に驚く或は泣くやうに振かつて



まあ！ 皮本統制時代に車の輪が廉く手に入るなんて素晴らしいわ。これを機會にお譲りしてあげてね。『石二鳥の家』の妻。



革製品はもう手に入らぬ。三つあるから一つは若い者へ



車をかぶつた乳母車も物置きから世に出た。物の死蔵から活用へ



『オ、買つて来たぞ。この乳母車が三圓だ』

りたれ晴は山廬

廬山がわが軍によつて完全に占領されてから早くも一ヶ月半天晴によつて抵抗をつづけた漢石嶽の支那兵も、いまは全く跡を絶つて金山明に晴れ渡つてゐる。

妙巖山にも似た三十六峯嶽々と打ち運る廬山の山頂近く略嶺の街がある。海拔一千百メートル箱根經井澤を思はせるこの自然は外人遊地として有名で深い山脈から清流がさらさらと流れ、その兩岸には別荘風の洋館が點々と立ち並んで樹々の蔭と美しい色調に映えてゐる。

自軍が九江占領時百數十名ゝた外人は駭嚇を避けて大部分が下山したが、残された家屋は何一つ壊されてゐない。牛を牽き羊を追ふ附近部落民の姿も見え、平和を感ずるわが警備兵の顔も明るい。



いまや奇麗な廬山は日の丸一色、敵が空しく残した！チカからはわが警備兵の勇い軍歌が響き、さあやながら楽しい生活がこぼれ出る。

平和の歌つた廬山の頂きにわが歩哨は立つ。山間にちこめな家も静かに晴れ、眼界ははるはると広がる。山腹の外圍地帯を渡るわが兵の姿に遊藝地廬山も口づく。

結核の街には残留外人が安心して居住してゐる。軍の真意を判断しわが将兵を固む談笑も前かである。



撮影 上海プレス・ユニオン



抗日支那兵が右往左往したであらう結核の街を附近の部落民が長閑かに山羊を追つてゆく。溪川の水音が新緑をふるはせては、山に浸かいる。

小林の台間に支那にはめづらしい谷川の清水を掬へば行軍の疲れも癒へる。

山麓にゆられ山頂に登る。よくも攻め上つた廬山である。あの山に、この軍に勇士の思ひ出は出さない。





獨・伊義軍を閲兵するフランコ將軍
 新たにマドリッドを首都と定め、防共の盟邦と結んで新
 興スペイン建設の歩武をすゝめるフランコ將軍は、五月十
 三日マドリッド郊外バラハスの練兵場にドイツ義勇軍指
 揮官男爵フォン・リヒトホルン少將を同伴、建國の大業
 に懸々の武功を樹てたドイツ及びイタリア義勇軍を閲兵、
 その功を讃へた。

↑ 英帝御訪米の途に
 英國皇帝ジョージ六世陛下には皇
 后陛下と御同伴にて五月六日ロンドン
 ン登、御即位後恒例のカナダ及び米
 國御訪問の途につかされた。兩陸
 下には同日午後零時十八分パワキ
 ガム宮を御出門、沿道をうづめる群
 衆の歡呼に一々感へさせられ、同零
 時四十五分オタワール一驛頭に到着
 せられた。寫眞は講事室わきウエス
 トミンスター一橋通過の御行列

↓ フランスの巨人機
 「ドヴァチヌ」飛ぶ
 フランス最大の旅客機「ドヴァチ
 一三三八號」機は五月十五日はじ
 めてパリ・ベルリン航空路をとり
 成功裡にベルリン、タンベルホフ
 飛行場に着陸した。同機は翼長二十
 九メートル、全長二十二メートル、
 乗客二十四人を收容するといふ巨大
 なもので、巡航速度二六〇キロ、航
 続距離二、〇〇〇キロといはれる。今
 後ドイツのルフトハンヤ會社の旅客
 機と交換飛行をするはずである。



⇨ アメリカの航空教室
 ニューメキシコ州のアルバカアク
 ハイスクールの學生たちは航空知識
 の習得に最近實地訓練を行ひ、男女
 學生の航空熱をあつてゐる。寫眞
 は飛行中の機内で通信練習を受ける
 學生たち。



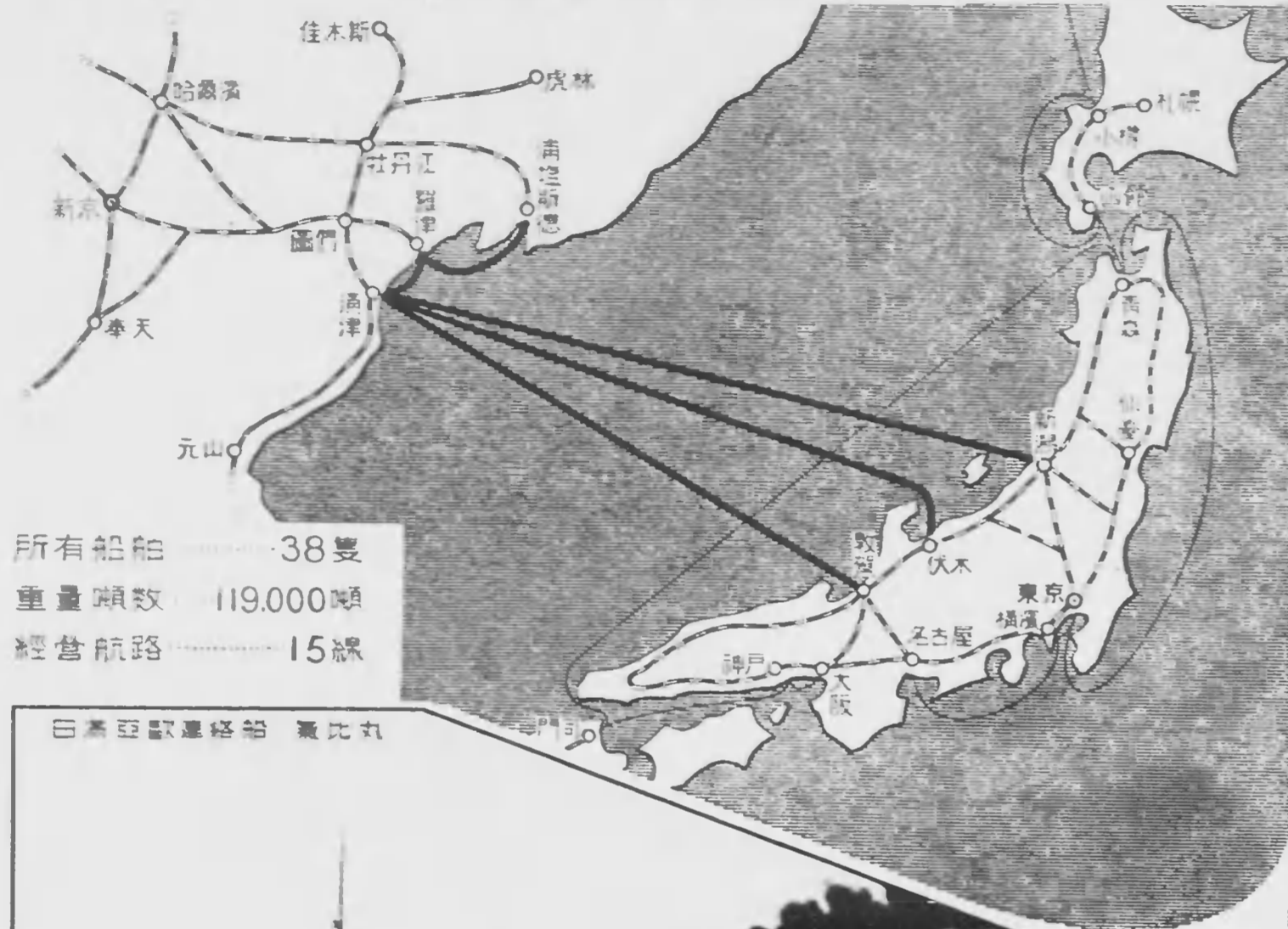
⇨ 英新鋭潜水艦進水す
 軍艦の帆をまつしぐらに進む英
 海軍の新鋭潜水艦「トルアント」
 「トライアド」の二隻は五月五日
 バトウイン・ファアネスのヴィア
 カリス・アームストロング工廠で
 進水した。なほ六月一日ベリク
 ヘッド沖合で試運転中沈没した、
 英潜水艦「シーチイス」號もこの
 艦と同型である。



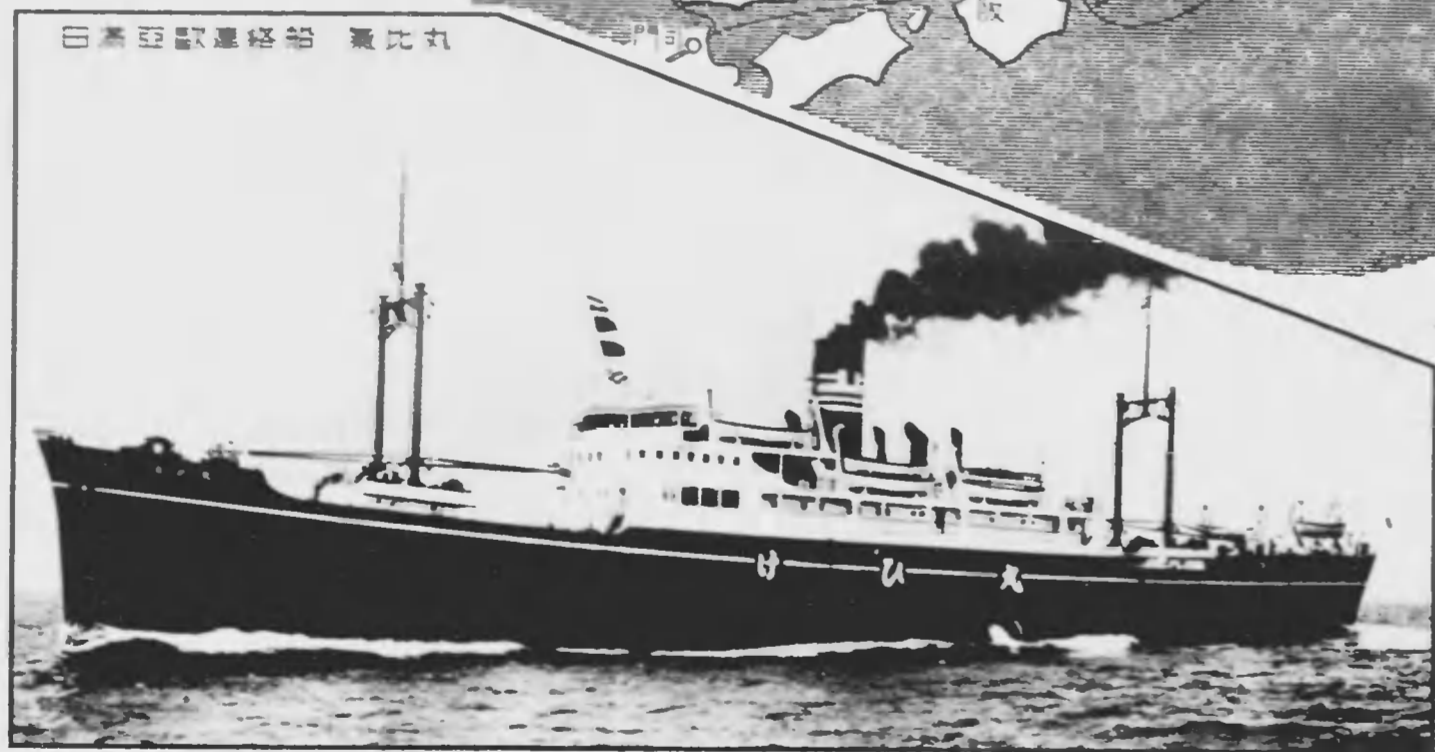
北日本汽船

資本金 壹千萬元
創立 大正三年
社長 野村台一良

東京市 麹町区 内幸町 大阪ビル



所有船舶 38隻
重量噸数 119,000噸
經營航路 15線



日滿連絡最捷路

新潟	—	北鮮線	月十回	月山丸	4,515噸
				さいべりや丸	3,461噸
				滿洲丸	3,054噸
敦賀	—	北鮮線	月三回	はるびん丸	5,167噸
敦賀	—	北鮮—浦塩線	月三回	氣比丸	4,522噸
伏木	—	北鮮線	月三回	北鮮丸	2,256噸



榮理大慶摩供

石川 大門 重太郎
辨慶の勳績で名高い安宅町では同町開港保存会主催、石川豊後侯で開成堂揚、皇軍の武運長久、敵國降伏祈願のため開港地内で榮理大慶摩供を行った。

金装飾品を全廢せよ

東京市 小林 啓克
金は國際收支の結末をつける寶物である。戦時體制下の日本は外需から海山の物資を買ひ金でその支拂をしてゐる。さきに國民は率先金を政府へ賣り、また七月一日からは金の國勢調査があるが、東京市は「金装飾品を全廢せよ」と街頭に立看板を掲げ長期建設下の市民に金銀國を要望してゐる。



弟犬の身がはりに

「朝山號」ケラー
東京市 梅田 善世

聖女ヘレンケラー女史に日本の思ひ出として伴はれていつた秋田犬「朝山號」は女史の愛育も空しく病に倒れてしまつたが、女史の美しい記憶を蘇らせ、悲しみを慰めるためこんど「朝山號」の兄弟犬「朝山號」がこの身がはりに贈られることになり、先月末日上京したこの可憐な日本親善使節は、六月一日郵船「朝山丸」で横浜を出帆した。

騎馬防衛隊走

鳥取 玉井 野

銃後の女性防衛に重要な役割を果たさねばならぬ鳥取縣赤松小学校はこの趣旨から同校體育大会に高一女の騎馬防衛隊走を行った。観望の町民は小國民のけげな姿に高雷の拍手を送つた。



寫眞週報(兼轉載)

昭和十四年六月十四日印刷發行

編輯部 内閣情報部
印刷部 内閣印刷局
發行部 東京市麹町區大寺町

所 込 中	價 定
内閣印刷局發行課 電話九ノ内二〇三五一九 振替東京一九〇〇〇	半ケ年(前金) 三圓四十錢 一ケ年(前金) 四圓八十錢 半ケ年分未滿配達希望の 方は一部十錢の割合を以て 前金を添へ御申込下さい (九折郵便に依る場合は 一ケ年九圓十二錢)
全国各地官報販賣所 東都書籍株式會社 各書店・郵便店 各新聞販賣店 寫眞材料店	

★表紙
休憩のサイレンが工場一杯に鳴りひびくと、郵便貯金帳と十錢白銅貨を握つた「十錢貯金部」は今日も工場からのおひの郵便局に押し寄せた。貯蓄報國はまづ貯蓄産業職からと、汗と油の顔を拭ひもあへず、日毎に通ひつゞける職工さんたちを赤い千のマークはたのもしく待ちうけてゐる。
撮影内閣情報部

東京通報 昭和十七年六月三十日 郵政省印刷局印刷 第六十九號

郵便局出售
六月三十日 四月二十四日



支那事變國債

大藏省

利引十・二円 利附十二・五円 五十五・五円 百・五円 千・五円

此債の償還は郵便局で買上りす

内閣印刷局印刷發行

(郵便、報通・A4格規定用紙は2大の書本)